

2015年11月16日

関係各位

第34回全日本民医連 糖尿病シンポジウム in 北海道

実行委員長 伊古田明美

第34回 全日本民医連 糖尿病シンポジウム in 北海道

開催・演題募集要項

2016年、歴史ある全日本民医連糖尿病シンポジウムを北海道で21年ぶりに開催することになりました。今回のテーマは「暮らし・仕事と糖尿病」です。糖尿病は赤ちゃんから高齢者まであらゆる年代に発症します。特に若い就労世代では療養が困難となることが多く高血糖のまま放置されていることも多いのが現状です。なぜこうなるのか、その背景にあるものにせまります。糖尿病を持ちながらいかに糖尿病を組み込んだ人生を豊かにしていくのか、それをどのようにサポートしていくのか、2日間大いに学び、皆さんで知恵を出し合って交流し、語り合しましょう。詳細についてはホームページもご覧ください。

実行委員会一同、全国の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 開催概要

【日時】2016年7月15日(金) 13時00分 ~16日(土) 12時30分

【会場】定山溪ビューホテル <http://www.jozankeiview.com/>

〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東2丁目

Tel 011-598-3223

【メインテーマ】暮らし・仕事と糖尿病

【参加費】15000円

【宿泊費】15000円(1泊2食付き)

【夕食交流会費】懇親会のみ参加の場合 8000円 定山溪ビューホテル宿泊者は宿泊費に込み
(会場は定山溪ビューホテルです)

【ホームページ】<http://m-dm34.umin.jp/>

【参加申し込み】

オンライン登録のみです。ホームページより登録をお願いします。演題発表の有無に関わらず、参加者は必ず登録をお願いします。早めの登録をお願いします。

- ★ 参加登録時に、参加希望ワークショップを選択いただきます。会場の関係で、定員に達した場合には希望ワークショップにご参加いただけない場合もございますので、早めの登録をお願いします。
- ★ ご参加いただくワークショップは当日の参加証に掲載されています。

参加登録期間 : 2016年1月15日(金) ~ 2016年5月31日(火)

2. プログラム (案) * 若干変更する場合がございます。ホームページを随時ご確認ください。

➤ 日程表

7月15日(金)

12:00 受付
13:00 開会式
13:10 研究報告
13:30 全体会
15:00 分科会(口演発表)
17:10 ポスターセッション
18:30 夕食交流会

7月16日(土)

8:20 糖尿病研究会
9:00 ワークショップ
10:30 特別講演
12:00 閉会式
12:30 終了

◆ 7月15日(金)

【研究報告】 13:10～ 13:30

「若年2型糖尿病患者実態調査」

全日本民医連「暮らし・仕事と糖尿病調査班

2014年10月に全日本民医連より、「暮らし、仕事と40歳以下2型糖尿病についての研究」(MIN-IREN T2DMU40 Study) 報告書、放置されてきた若年2型糖尿病-2型糖尿病の未来予想図-ブックレットが刊行されました。研究代表者である、石川民医連城北クリニック所長、勤也寸志先生より報告いただきます。

【全体会】 13:30～ 14:50

寸劇「ジコセキニンって言われたって・・・」

寸劇による症例提示を通して、糖尿病とSDH(健康の社会的決定要因)について学び、考えを深めます。糖尿病に対する患者さんの思いを捉え、医療者との「ずれ」を認識し療養支援に生かしましょう!

【分科会(口演発表)】 15:00～ 17:00

【ポスターセッション】 17:10～ 18:10

糖尿病にかかわる、日ごろの医療・介護・研究活動の発表の場です。積極的にご応募ください。演題・抄録登録はオンライン登録のみです。詳細については、3. 演題・抄録登録の項をご確認ください。

◇ 演題・抄録登録期間: 2016年1月15日(金)～ 2016年3月2日(水)

【夕食交流会】 18:30～ 定山溪ビューホテル 大広間

北海道の美味しい味覚に舌鼓を打ちながら、全国の仲間と楽しい夜を過ごしましょう! アイヌアーティスト TOYTOY ミニライブやご当地クイズ、ゲームなど盛りだくさんで皆さんをお待ちしています!!

◆ 7月16日(土)

【糖尿病研究会】 8:20～ 8:50

【ワークショップ】 9:00～ 10:20

① 「高齢者の糖尿病」

講師: 道北勤医協 旭川北医院 内科 仲谷了先生

超高齢化社会を迎え糖尿病の増加、認知症やサルコペニア、フレイルなど様々な対応が求められています。ワークショップでは高齢糖尿病の基調報告後、実際の診療からの症例を提示し多くの専門職から広い角度でグループワークを行います。

② 「地域と連携して取り組む 糖尿病性腎症の重症化予防」

講師：道南勤医協 函館稜北病院 内科 佐々木悟先生

糖尿病性腎症の重症化予防、とくに減塩に焦点をあて、推定1日塩分摂取量検査、塩分味覚閾値検査（ソルセイブ）の最新のエビデンスに基づき、地域ぐるみで減塩をおこなうシステムやワークフローなど地域連携の新たな切り口を函館稜北病院の取り組みをもとにグループディスカッションします。

③ 「最新の糖尿病薬物療法」

講師：札幌厚生病院 糖尿病・内分泌内科 臨床研修センター

主任部長 紅粉睦男先生

近年、作用機序の異なる経口糖尿病薬や作用時間の異なるインスリン製剤、GLP-1 作動薬等の新しい薬剤が登場しています。最新の糖尿病治療薬について講演をいただきます。あわせて札幌圏の民医連院所における糖尿病治療薬の使用実態に関する経年調査結果も報告します。

④ 「健診から見た未治療糖尿病」

講師：勤医協中央病院健診課 池川純美恵保健師

埼玉西協同病院 長谷川幸路保健師

健診課は病院の中で唯一健常者を対象とし、年間約1万人のデータが集積します。健診者の中には高度の糖代謝異常やタンパク尿があっても未治療の人がいます。それをどのように拾い出して治療につなげるか、その実践と成果・問題点について学びます。

⑤ 「運動療法～楽しく運動を続けるために～」

講師：社会医療法人 新潟勤労者医療協会 かえつクリニック 所長 岡田節郎先生

運動が身体にいいことはわかっているけれど・・・」効果があるのに継続率の低い運動療法。続けられない理由を探りながら、近年注目されているメディカルフィットネスの実践を健康運動指導士の指導も体験しながら学びましょう。どこかにヒントがかくれているかも？

⑥ 「フットケア

～ これからも共に歩いていくために 足から暮らし・仕事を考えよう～

講師：北海道勤医協中央病院 糖尿病看護認定看護師 笹川恭子看護師

フットケアはその方の「あし」だけではなく「からだ」と「こころ」も一緒にみることがとても大切です。そして、その方をとりまく「社会」にも原因が隠れているかもしれません。グループワークを通して、みなさんで「暮らし・仕事と“あし”」を考えてみませんか？

【特別講演】10：30～ 12：00

「糖尿病医療学の知を臨床の力に」

奈良県立医科大学糖尿病学講座 石井均教授

医学上正しい方法で治療しても、なかなか良くならない方がいます。よく話を聞いてみると、お薬を飲んでいませんでした。そんな場面ありませんか？血糖値が高い…医療者として不安になる…、石井先生はそんな「糖尿病医療学」を深く研究されています。みんなで「糖尿病医療学」を勉強しましょう！

3. 演題・抄録登録

オンライン登録のみです。糖尿病シンポジウム in 北海道ホームページからのオンライン登録をお願い致します。演題・抄録は、登録期間内はいつでも修正・変更が可能です。締め切り直前は回線が混みあうことが予想されますので、時間的余裕をもってご登録下さい。

登録期間が過ぎると登録はできません。登録期間の延長はしませんので期間内に登録してください。

- ◇ 演題・抄録登録期間；2016年1月15日（金）～同年3月2日（水）
- ◇ 演題発表 PPT 事前登録期間；2016年6月1日（水）～同年6月20日（月）
- ◇ URL；<http://m-dm34.umin.jp/>

発表形式は、口演とポスターから選択してご登録下さい。なお、希望された発表形式を変更していただくことがありますので、予めご了承下さい。登録後、受付番号とパスワードを記入した受付メールが自動送信されます。修正・変更の際には必要ですので、必ず保管して下さい。

<演題・抄録登録の注意点>

- ◆ 演題・抄録登録の際、発表を希望される領域を下記から選択してご登録下さい。
 1. 症例報告
 2. 合併症
 3. フットケア
 4. 薬物療法
 5. 運動療法
 6. 食事療法
 7. チーム医療
 8. 社会経済学
 9. その他
- ◆ 文字数は演題名 50 字以内、抄録本文は 800 字以内です。
- ◆ 演者は発表演者を含めて 11 名以内です。所属機関は最大で 5 つです。（発表・共同演者共通）
- ◆ 内容がよく分かるように、「目的」「対象と方法」「結果」「考察」「まとめ」などの見出し・項目を立て、簡潔に記述して下さい。

<口演発表>

- ◆ パソコン とプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。
- ◆ ファイル形式は Microsoft Power Point 2007 もしくは 2010 をお願い致します。
- ◆ Macintosh を用いて作成される場合は、相互性が損なわれる可能性があります。予め Windows PC での動作確認をお願い致します。
- ◆ 動画、音声の使用は円滑な運営に支障をきたすおそれがあるため、ご遠慮願います。
- ◆ スライドに枚数制限はありませんが、発表時間は厳守して下さい。
- ◆ 円滑な運営のため、パワーポイントは事前登録とさせていただきます。指定期間内に発表用パワーポイントを登録して下さい。登録後のデータ差し替えはできませんのでご注意ください。
- ◆ 登録できるファイルは 10MB までです。この範囲で作成して下さい。
- ◆ 個人用パソコンの持ち込みによる発表はできません。発表時のスライド操作は演者自身をお願い致します。
- ◆ 操作方法で解らないことがありましたら会場内実行委員にお問い合わせください。

<ポスター発表>

- ◆ 展示用パネルに発表内容を掲示して下さい。演題分類ごとに掲示スペースを用意します。
- ◆ ポスター掲示面の大きさは幅 90cm、高さ 180 cm です。
- ◆ ポスターには、演題名、発表者、共同研究者、県連・事業所名などを記載して下さい。
- ◆ 演題番号は事務局で用意し、あらかじめ掲示してあります。
- ◆ ポスターは 2016 年 7 月 15 日 15 時までに掲示して下さい。
- ◆ ポスターはポスターセッション終了後、演者ご自身で撤去をお願い致します。撤去されなかったポスターはシンポジウム終了後に実行委員会にて処分しますので、予めご了承下さい。

4. 宿泊申し込み

宿泊申し込みはホームページで受け付けいたします。

宿泊申し込み締め切り : 2016年5月31日 (参加登録時に申し込み)

7月の北海道は観光シーズンです。ご自身で手配される方もお早目の準備をお願いします。

宿泊施設は温泉ホテルとなっておりますため、4人部屋となります。

どうぞご了承くださいませようお願いいたします。

- ◆ 前後の宿泊や旅行手配については旅システムへご相談ください。

旅システム 担当 : 青木 <http://www.tabisystem.com/>

〒065-0012 北海道札幌市東区北12条東7丁目1-1 ワコービル 3F Tel 011-742-2260

5. 参加費等の振り込みについて

参加登録後、自動送信される受付メールにて振込口座を連絡いたします。メールを確認の上、2016年6月15日までに振り込みをお願いします。振込手数料はご負担ください。参加証と参加費、宿泊費、食交流会費、バス代等の領収書はネームプレートに添付されており、当日お渡しします。

6. 千歳空港、札幌駅からの送迎バス申し込みについて

7月15日(金)新千歳空港発・札幌駅発、7月16日(土)ホテル発札幌駅着の送迎バスをご用意します。会場は豊平川源流に近く「札幌の奥座敷」と言われるところです。市街地からはやや離れますので送迎バスをお勧めします。参加登録時に利用について確認させていただきます。バスの時間は変更する場合がありますので、ホームページでご確認ください。

7月15日(金)新千歳空港・札幌駅発 午前10時30分頃の出発を予定しています。

7月16日(土)ホテル発 札幌駅着 午後13時発

バス料金 片道2000円 往復4000円(参加費、宿泊費と一緒に振り込んでください。)

7. 託児サービスのご案内

会場で託児サービスを承ります。ご希望される方は、2016年5月31日までに事務局(iji-1@kin-ikyo-chuo.jp)へご連絡ください。

8. メーリングリストのご案内

DMシンポジウムのメーリングリストを開設しております。準備状況のお知らせやニュースの送付等、実行委員会から直接お手元に届きます。参加ご希望の方は登録が必要です。

join-min-dmsympo.yMz9@ml.freeml.com まで空メールを送信してください。

9. 問い合わせ先

第34回 全日本民医連 糖尿病シンポジウム in 北海道

事務局長 梁田俊助 勤医協中央病院 医事1課

〒007-8505 札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

Tel 011-782-9111 Mail: iji-1@kin-ikyo-chuo.jp

以上